



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

令和8年度 第6号【7月6日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

1学期のまとめの時期となりました

職員室にある机の脚に足の小指をぶつけてしまいました。骨が折れたのではないかと思います。ほどの激痛に、思わず声が出るとともに、その場でうずくまってしまいました。ご家庭でも、椅子や家具などに足の小指をぶつけた経験がある方は少なくないのではないのでしょうか。

「なぜこんな悲劇が起こるのだろう」と調べてみると、このことについて研究した人がいるようです。さまざまな実験や調査を分析した結果、人間は自分の体の大きさを実際よりも少し小さめに認識する傾向があることが分かったそうです。つまり、「当たらないはずだ」と思って出した足が、実際には自分の認識よりもわずかにはみ出しており、その部分をぶつけてしまうというわけです。

さて、1学期も残すところあと2週間となりました。生徒たちは4月からの新しい環境や生活リズムの中で、日々の授業はもちろん、1、2年生は校外学習、3年生は修学旅行といった大きな行事を経験し、多くの学びを積み重ねてきました。部活動の地域移行も、生徒たちにとっては大きな環境の変化だったことでしょう。一人ひとりの小さな努力の積み重ねが、学校全体の温かな雰囲気をつくってくれていることを大変うれしく思います。その一方で、この時期になると疲れが見え始める生徒も少なくありません。もしかすると、「こうあるべき中学生像」という理想が、今の自分の大きさよりも少し大きく感じられ、知らず知らずのうちに無理をしているのかもしれない。

来週からは学期末の三者懇談を実施いたします。1学期に頑張ったこと、学習や進路に関すること、今後の課題などについてお話しさせていただく予定です。お子さまのことで気になることや心配なことがございましたら、どうぞ遠慮なく学級担任をはじめ教職員にご相談ください。足の小指をぶつけることのないように、生徒たち一人ひとりの「今の大きさ」を大切にしながら、保護者の皆様と手を取り合って支えていきたいと考えています。

いよいよ生徒たちが楽しみにしている夏休みが近づいてきました。疲れた心と体をゆっくりと休ませ、ほっと一息つける時間にしてほしいと願っています。また、気持ちが開放的になることで事故やトラブルに巻き込まれることのないよう、学校では1学期のまとめとともに、自分自身の生活を見つめ直す指導を丁寧に行ってまいります。ご家庭におかれましても、生徒たちの生活習慣や安全面について、引き続き温かく見守っていただきますようお願いいたします。